

13

冬を明るく 暖かく

教師用指導例

6年 東書版 p.26～27

めあて

あたたかい住まい方をくふうできるようになろう

【学習指導要領との関連】 内容C 快適な衣服と住まい  
(2) 快適な住まい方について、次の事項を指導する。  
イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

1 課題を見つける

- 説明 1
- 今日は冬の生活を明るく、暖かく住もう工夫を考えます。
- 発問 1
- 寒くなってきました。昼間、家の中で暖かくすごすためにどんな工夫をしていますか。
- 指示 1
- 次の表（別紙 PDF）の【家で行っているくふう】に書きます。Ⓔと書いてから、工夫を書きましょう。上のイラストを見てもかまいません。  
(ストーブをたく、あたたかい飲み物を飲む、日光を取り入れる、窓を開けてかん気をする……)  
※発表させる。
- 発問 2
- 夜はあたたかくすごすためにどんな工夫をしていますか。
- 指示 2
- 同じ表に書きます。Ⓕと書いてから、工夫を書きましょう。  
(こたつに入る、あたたかい食事をとる、部屋が冷えないように、カーテンを閉める…)  
※発表させる。

2 課題を追究する

- 説明 2
- 先ほど暖かく過ごすための工夫で【換気】が出てきました。ガスや石油、灯油を使う暖房器具の場合は、換気が必要です。
- 発問 3
- 換気をするのは、どんな理由でしょう。お隣さんと相談します。  
(酸素が減って苦しくなるから、風邪を予防できるから、部屋の空気が汚くなるから、新鮮な空気に入れかえた方が勉強もはかどるから…)
- 説明 3
- 換気をする一番の目的は、一酸化炭素中毒を防ぐためです。  
※一酸化炭素中毒…換気をしないで暖房器具（室内の酸素を消費するもの）を使用すると、酸素不足で不完全燃焼が起き、一酸化炭素が発生する。一酸化炭素はとても毒性が強い気体で、吸い込むと頭痛や吐き気、めまいなどを引き起こし、最悪の場合死にいたる危険性がある。
- 説明 4
- 今から学校で暖かく過ごす工夫を考えます。家とは違うところがたくさんあります。
- 指示 3
- 表の【学校で行っているくふう】に書きます。
- 指示 4
- まず「明るく住もうくふう」が書けたら持ってきます。  
※持って来た子から板書させる。表は簡単に板書しておく。

3 討論する 4 異なる考えを認める

- 発問 4
- よりエネルギーを節約して、暖かく明るく過ごす工夫は何ですか。表に書いてⒼと書いてから、工夫を書きます。
- 指示 5
- それでは黒板の前で発表してもらいます。
- 指示 6
- 何か質問や付け足し、反対意見がある人いますか。立って意見を言います。質問、反対意見が出されたら、書いた人は必ず立って答えます。答えられない時は、「調べます」とか「答えられる人はいませんか」と聞いてみます。  
(・ストーブをつける前に暖かい服装をしてくるように声かけすると良いと思います。  
・カーテンを閉めると、室内の温度が下がりにくいという意見に反対です。日が出ているうちはカーテンを開けて日光を取り入れたほうが、教室が明るくあたたかくなります。  
・学校の電気をLEDに変えて明るくするのは、とても良い意見だと思います。でもお金がないからすぐにはできないと思います。  
・窓をきれいにふくと、より日光が入りやすくなり、教室が明るくなると思います。  
・あたたかい給食の意見に付け加えて、冬はあたたかい牛乳を出してほしいです。  
・重ね着をするなど、あたたかい服装をする意見に加え、冬用に長袖の体操服があるとよいと思います。)

5 まとめる

- 説明 5
- 家や学校で明るく暖かく住もうためには、いろいろな工夫があります。自然の力を利用して、快適に過ごす工夫を家庭科楽習ノートでまとめていきましょう。
- 指示 7
- 家庭科楽習ノートの26ページを開きます。【①やってみよう】の絵で、暖かい過ごし方になるようにシールをはりましょう。  
※どんな工夫なのか、シールの横に書かせる。

板書の例

	家で行っている工夫	学校で行っている工夫
明るく住もう工夫	Ⓔ 日光を取り入れる。 Ⓕ 照明をつける。	暗い場所では照明をつける。
暖かく住もう工夫	Ⓔ 重ね着をする。 Ⓕ エアコンをつける。	Ⓖ 日光を取り入れて、教室をあたたかくする。
換気のしかた	Ⓔ 窓を開ける。 Ⓕ 換気せんを回す。	窓を開ける。

# 冬を明るく暖かく住もう工夫

年 組 番 なまえ

昼間



夜



	家で行っている工夫	学校で行っている工夫
明るく住もう工夫		
明るく住もう工夫		
かんき 換気のしかた		